

# 岡山県感染症週報 2013 年 第 21 週 (5 月 20 日～5 月 26 日)

6 月 1 日～7 日は『HIV 検査普及週間』です。

◎岡山県では『インフルエンザ注意報』発令中です。

## ◆2013 年 第 21 週 (5/20～5/26) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第 19 週	2 類感染症	結核	2 名 (60 代 男 1 名・80 代 男 1 名)
第 20 週	2 類感染症	結核	4 名 (20 代 男 1 名、50 代 男 1 名、60 代 女 1 名、80 代 男 1 名)
	5 類感染症	後天性免疫不全症候群	1 名 (40 代 男)
		風しん	1 名 (50 代 女)
第 21 週	2 類感染症	結核	4 名 (30 代 男 1 名、60 代 女 1 名、80 代 男 1 名・女 1 名)
	3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 名 (O146 : 60 代 女)
	5 類感染症	風しん	4 名 (20 代 男 1 名、30 代 男 2 名、40 代 男 1 名)

### ■定点把握感染症発生状況

- インフルエンザは、78 名 (定点あたり 1.29 → 0.93 人) の報告があり、前週より減少しました。
- 感染性胃腸炎は、446 名 (定点あたり 11.13 → 8.26 人) の報告があり、前週より減少しました。

### 【第 22 週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 1 名 (O157 : 20 代 女) の発生がありました。(5 月 28 日)

- 風しん**は、20 週に 1 名、21 週に 4 名の発生報告がありました。岡山県では今年の第 1～21 週までの報告累計が 39 名となり、発生報告が続いています。患者は、全国集計同様 20～30 代の男性が中心であり、予防接種歴は、接種歴無しが 14 名、接種不明が 22 名、1 回のみ接種が 3 名でした。全国の第 1～20 週までの累計報告数は、昨年同時期の約 35 倍となる 7,540 名が発生し、関東地方・近畿地方を中心に、患者の急増が続いています。風しんの有効な予防方法は、予防接種を受けることです。予防接種については、市町村の予防接種担当課へご相談ください。
- インフルエンザ**は、県全体で 78 名 (定点あたり 1.29 → 0.93 人) の報告があり、前週より減少しました。岡山県はひきつづき「インフルエンザ注意報」により注意喚起を図っています。県内の詳しい発生状況などは『インフルエンザ情報』をご覧ください。全国の第 20 週 (5/13～5/19) の集計によると、定点あたり 1.87 人であり、前週 (1.91 人) より減少しました。
- 感染性胃腸炎**は、446 名 (定点あたり 11.13 → 8.26 人) の報告があり、前週より減少しました。県内の発生状況など詳しくは『感染性胃腸炎情報』をご覧ください。
- 腸管出血性大腸菌感染症**は、1 名の報告があり、今年は第 21 週までに 12 名が報告されています。過去 5 年の同時期とほぼ同数の発生ですが、5 月頃から患者が増加する傾向がありますので、食肉は中心部まで火を通すなど、通常の食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。
- 新型コロナウイルス感染症**の名称が「中東呼吸器症候群 (MERS)」になりました。

### 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★	RSウイルス感染症		
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★★
感染性胃腸炎		★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ		★	流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】 前週からの推移：  
 : 2 倍以上の減少  
 : 1.1～2 倍未満の減少  
 : 1.1 未満の増減  
 : 1.1～2 倍未満の増加  
 : 2 倍以上の増加

発生状況: 空白: 発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

※今週の流行状況を過去 5 年間と比較し、5 段階で表示しています。

## 平成 25 年度 H I V 検査普及週間の実施について（6 月 1 日から 6 月 7 日）

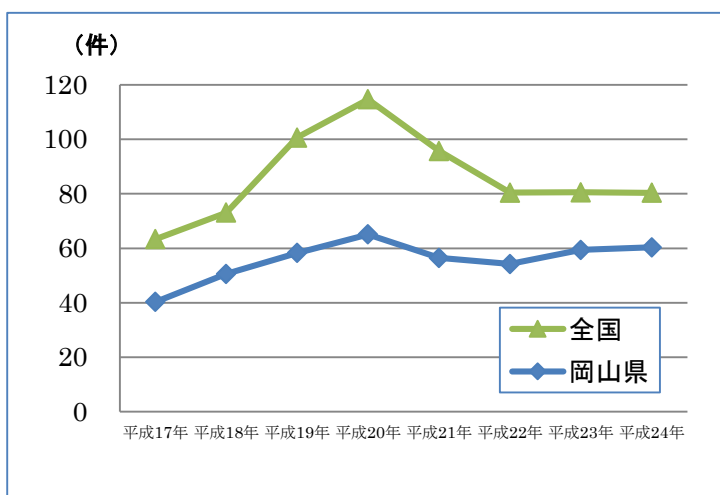
6 月 1 日～7 日は『H I V 検査普及週間』です。『受けよう！エイズ検査 愛する人のために、そして自分のために』

平成 24 年の国内における新規のH I V感染者及びA I D S 患者は 1,449 人でした。そのうち新規A I D S 患者数は 447 件で「いきなりエイズ」が多く、検査が未だ十分に行き届いていないことが示唆されています。

岡山県の感染者・患者発生中心世代は 20～40 代で、「いきなりエイズ」が多い状況です。

※「いきなりエイズ」とは、H I Vに感染した人が何も治療を受けないまま、A I D S を発症して初めてH I Vに感染していたことを知る状態をいいます。

### 【岡山県と全国の保健所等でのH I V検査数（人口 10 万対）の推移】



岡山県の保健所等でH I V検査を受けられた人の数は全国に比べて少なく、特に近年は検査数が横ばい状況で推移しています。

H I Vに感染した段階では自覚症状がなく、気付かないうちに大切な人にうつしてしまうかもしれません。また、A I D S を発症してしまうと治療も難しくなります。A I D S を発症する前の早い段階で適切な治療を開始できれば、糖尿病などの慢性疾患と同じように薬や通院治療によってコントロール可能な病気となっています。

H I V検査普及週間は、検査・相談などの情報提供を含む普及啓発を行うことにより、H I V検査の浸透・普及を目指しています。

### 【お知らせ】

H I V検査普及週間には、岡山県内の保健所・支所で、定例日以外や夜間等に検査を実施しています。

県では、保健所・支所で行っている無料匿名のH I V抗体検査・相談の更なる浸透・普及を図ることを目的に、H I V検査普及週間には定例日以外の検査や夜間検査を実施します。県内 10 カ所のエイズ治療拠点病院でも検査を受けられます。

○県保健所・支所におけるH I V検査普及週間関連検査実施日時・啓発活動はこちらから

#### [【岡山県からのお知らせ 平成 25 年度H I V検査普及週間の実施について】](#)

県保健所・支所における検査の予約は、検査実施日前日 17 時まで受け付けており、希望者は、梅毒・性器クラミジア・B 型肝炎・C 型肝炎の検査も同時に受けることができます。（全て無料・匿名で検査を受けることができます。）

※月曜日に検査を実施する保健所・支所については、前週金曜日の 17 時（備中保健所は 12 時）までに予約が必要です。美作保健所の迅速検査については、当日 12 時まで予約が可能です。

○岡山市保健所、倉敷市保健所のエイズ・性感染症に係る相談、検査はこちらから

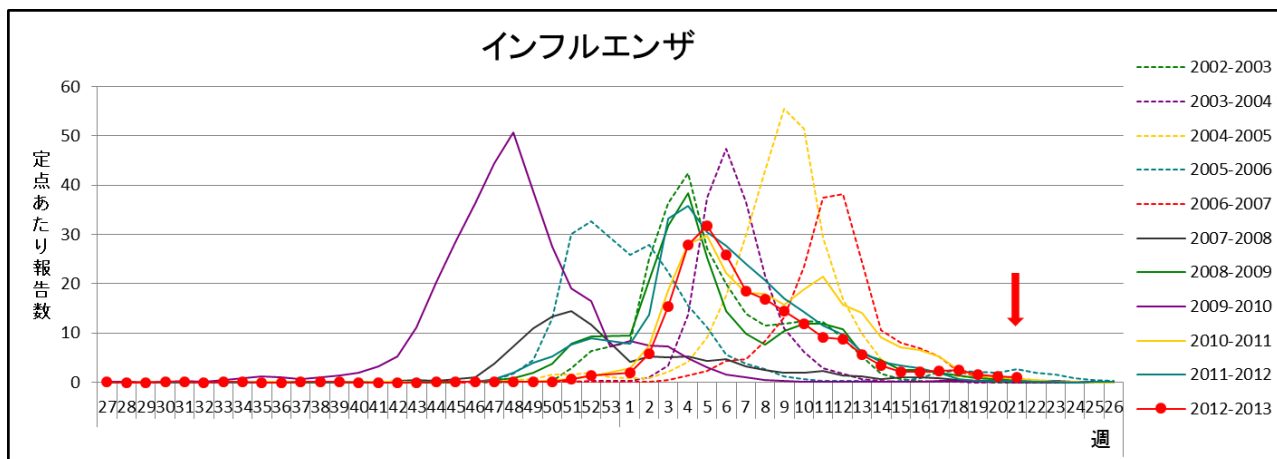
→ [岡山市保健所](#)、[倉敷市保健所](#)

インフルエンザ情報 2013 年 第 21 週 (5 月 20 日 ~ 5 月 26 日)

**岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です**

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、78 名（定点あたり 1.29 → 0.93 人）の報告があり、前週より減少しました。  
岡山県は「インフルエンザ注意報」発令中です。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 1 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、78 名（定点あたり 1.29 → 0.93 人）の報告があり（84 定点医療機関報告）、前週より減少しました。

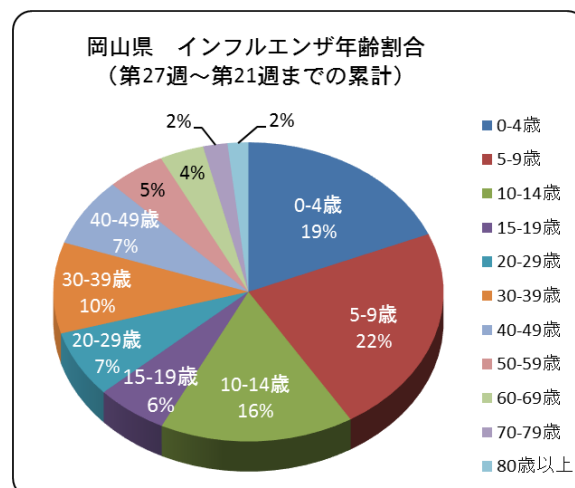
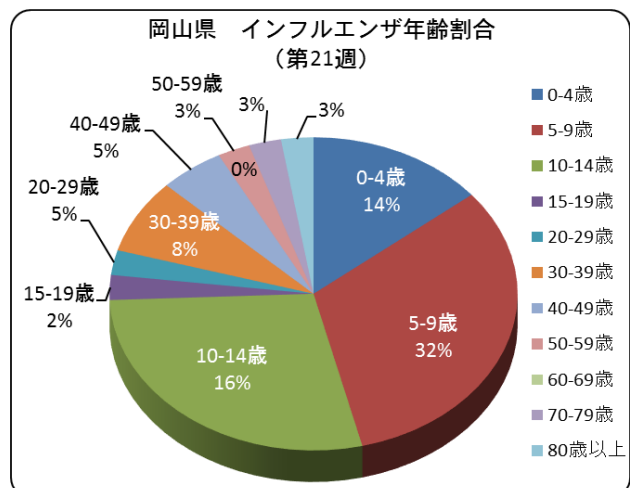
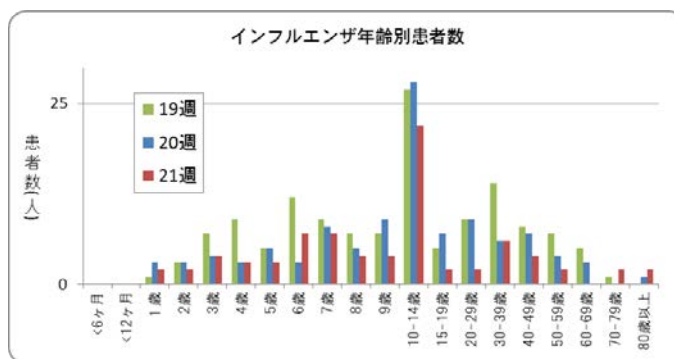
岡山県はひきつづき「インフルエンザ注意報」により注意喚起を図っています。手洗い・うがいなどの感染予防を心がけましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

※注意報の解除基準：2 週連続して、定点あたり 1 人を下まわった場合。

1. 年齢別発生状況

インフルエンザ患者の年齢割合は、5-9 歳が 32%、10-14 歳が 16%、0-4 歳が 14% の順で、幼児、小学生、中学生に該当する年齢層が患者の 62% を占めています。

第 20 週に続き、学校の臨時休業も報告されていますので、ひきつづき集団生活の中での感染に注意してください。

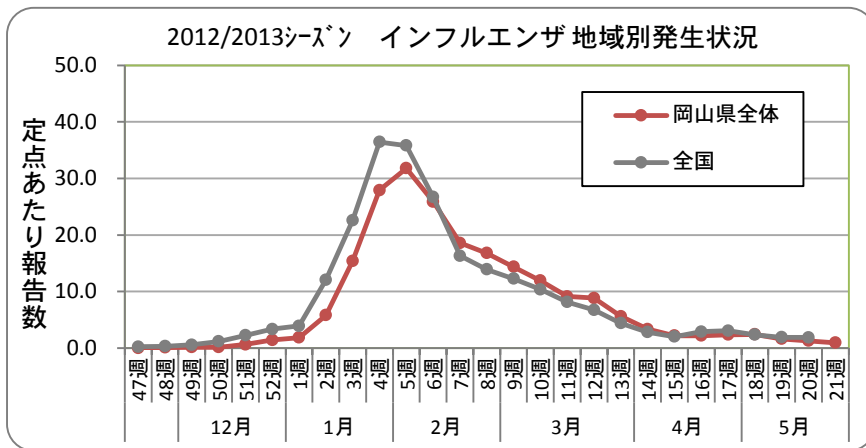


## 2. 地域別発生状況

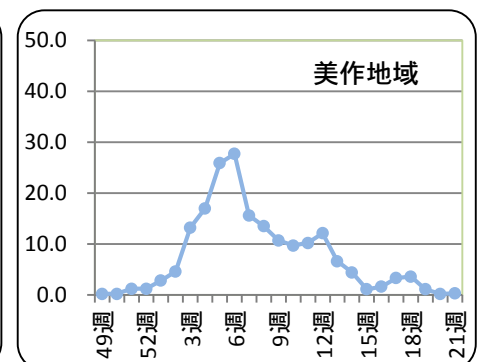
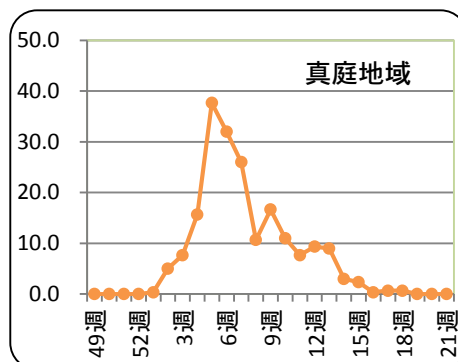
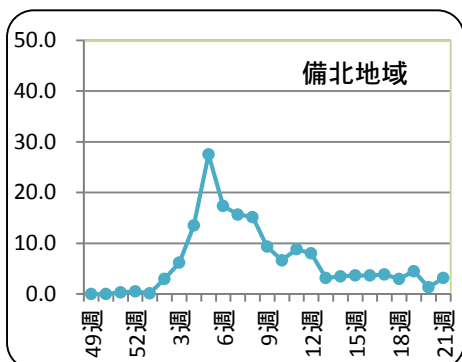
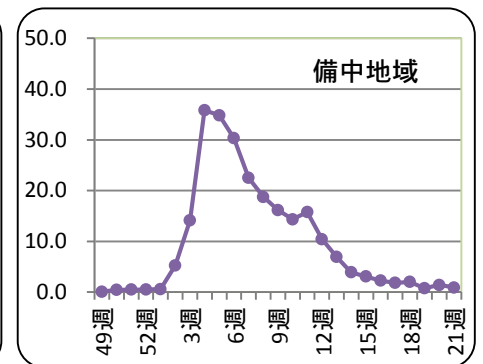
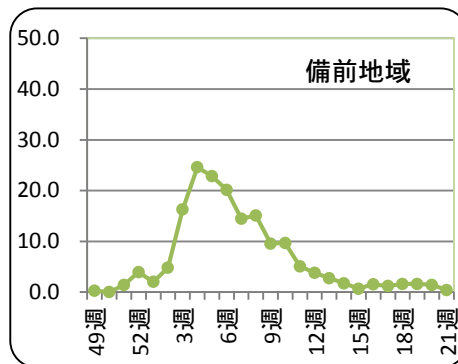
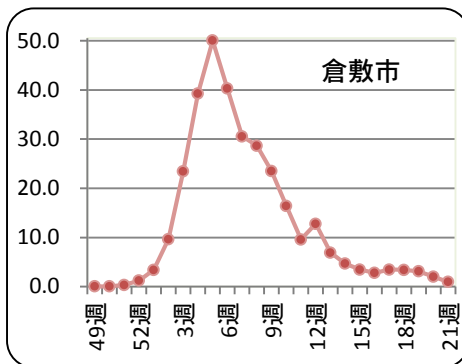
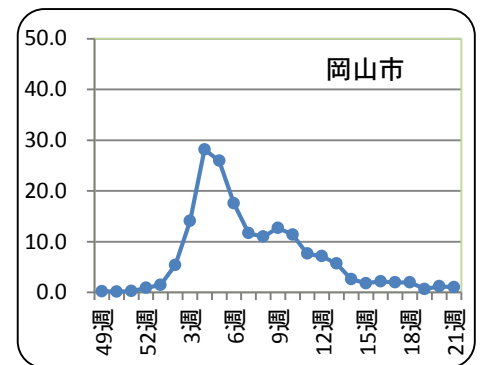
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	78	↓	備 中	患者数	11	↓
	定点あたり	0.93			定点あたり	0.92	
岡山市	患者数	23	↓	備 北	患者数	19	↑
	定点あたり	1.05			定点あたり	3.17	
倉敷市	患者数	16	↓	真 庭	患者数	0	→
	定点あたり	1.00			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	6	↓	美 作	患者数	3	↗
	定点あたり	0.40			定点あたり	0.30	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →  
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑



全国集計第20週(5/13～5/19)の定点あたり患者数は1.87人となり、前週(1.91人)よりも減少しました。都道府県別では富山県(6.69人)、宮崎県(5.58人)、福井県(3.97人)の順に多く、28都道府県で前週の報告数より減少しました。



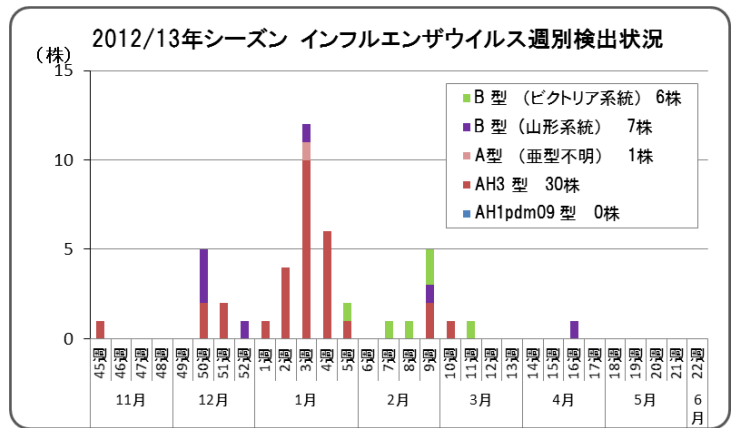
### 3. インフルエンザウイルス検出状況

第21週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、2～4月に採取された検体からインフルエンザAH3型が1株、B型（山形系統）が1株、B型（ビクトリア系統）が3株でした。

今シーズンで、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が30株、A型（亜型不明）が1株、B型（山形系統）が7株、B型（ビクトリア系統）が6株です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が最も多く80%、B型が18%、AH1pdm09型が2%の順になっています。昨シーズン同様AH3型が主流になっていますが、B型の検出割合が徐々に増加しています。

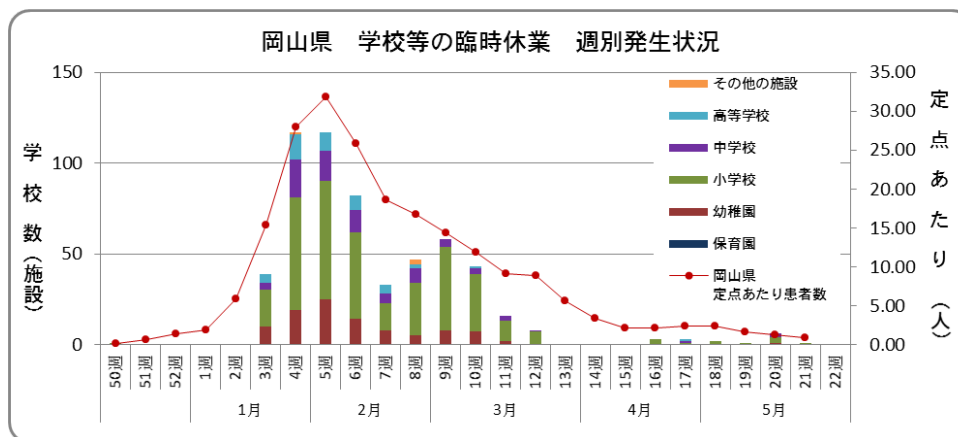
[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報 国立感染症研究所 感染症疫学センター\)](#)



ウイルス名	検体採取週	検体採取日	保健所管内	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3型	2013年第5週(1/28～2/3)	2013/2/2	備中	幼児	女	
インフルエンザウイルスB型	2013年第8週(2/18～2/24)	2013/2/20	備中	小学生	男	ビクトリア系統
インフルエンザウイルスB型	2013年第9週(2/25～3/3)	2013/3/1	備中	小学生	男	ビクトリア系統
インフルエンザウイルスB型	2013年第9週(2/25～3/3)	2013/3/1	備中	小学生	男	ビクトリア系統
インフルエンザウイルスB型	2013年第16週(4/15～4/21)	2013/4/18	岡山市	小学生	男	山形系統

### 4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。



#### ◆臨時休業施設数

##### 1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 第21週

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	7	7933	7	5870	1	578	0	22	1	185	0	371	H 24. 11. 6
岡山市	7	2955	7	2144	1	190	0	2	1	32	0	156	H24. 11. 6
倉敷市	0	1791	0	1288	0	109	0	1	0	15	0	93	H25. 1. 15
備前地域	0	904	0	693	0	83	0	4	0	37	0	42	H25. 1. 15
備中地域	0	1115	0	899	0	93	0	6	0	42	0	45	H24. 12. 12
備北地域	0	310	0	238	0	32	0	3	0	23	0	6	H25. 1. 21
真庭地域	0	128	0	90	0	12	0	1	0	9	0	2	H25. 1. 21
美作地域	0	730	0	518	0	59	0	5	0	27	0	27	H25. 1. 15

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
	—	—	0	99	1	347	0	81	0	47	0	4

### ◆ インフルエンザによる出席停止期間が改正されました。

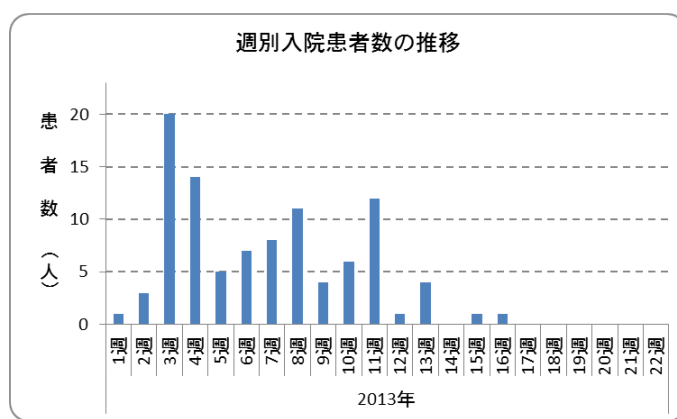
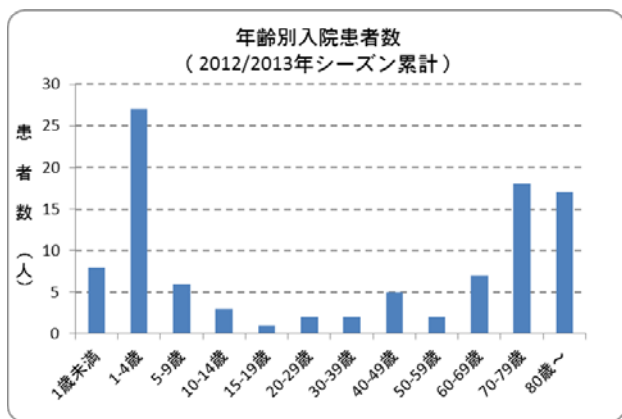
平成24年4月1日より、学校保健安全法施行規則が一部改正され、インフルエンザの出席停止期間が「解熱した後2日を経過するまで」から「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまで」に改正されました。水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

※ [学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について\(通知\)](#)

### 5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点5医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



### 【平成24年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	8	27	6	3	1	2	2	5	2	7	18	17	98
ICU入室										1			1
人工呼吸器の利用							1			1			2
頭部CT検査(予定含)		3	3	1	1	1	1				2		12
頭部MRI検査(予定含)		8	2		1		1						12
脳波検査(予定含)		1					1						2
いずれにも該当せず	8	18	2	2		1	1	5	2	6	16	17	78

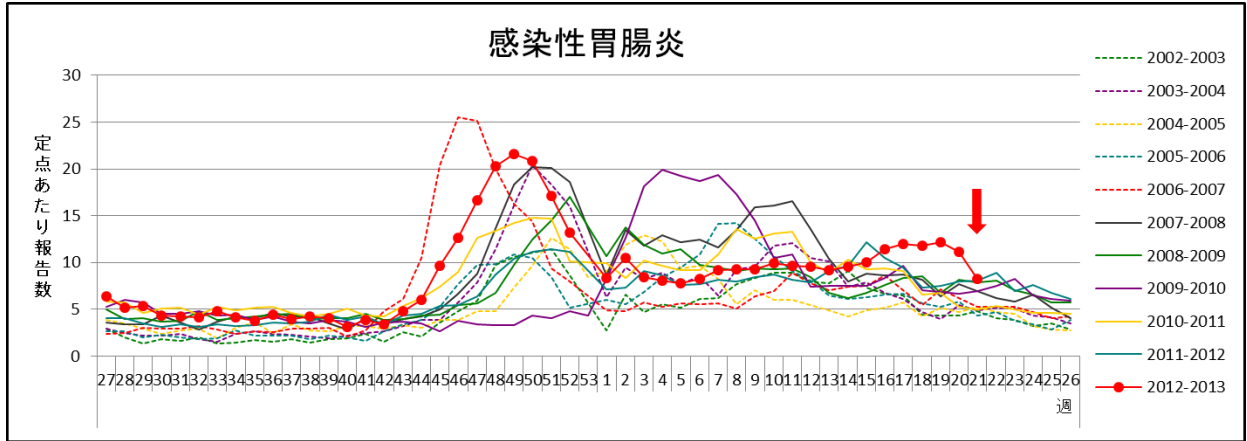
\*重複あり

【鳥インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください】

・ [鳥インフルエンザA \(H7N9\) について](#) ・ 県民の皆様へ

# 感染性胃腸炎情報 2013 年 第 21 週 (5 月 20 日 ~ 5 月 26 日)

- 岡山県内の患者報告数は 446 名（定点あたり 11.13 →8.26 人）であり、前週より減少しました。
- 感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が浅口市の幼稚園 1 園でありました。（5 月 23 日）



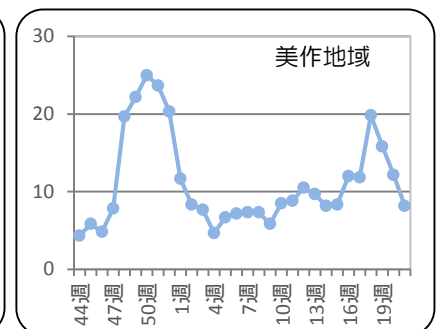
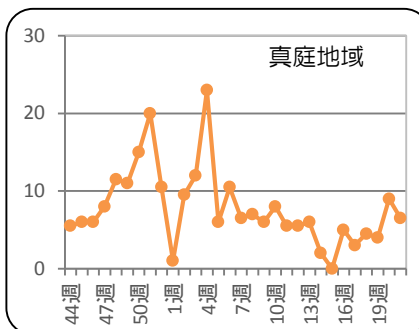
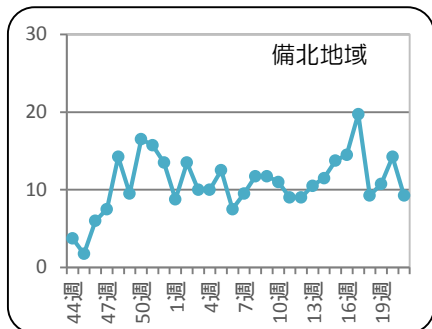
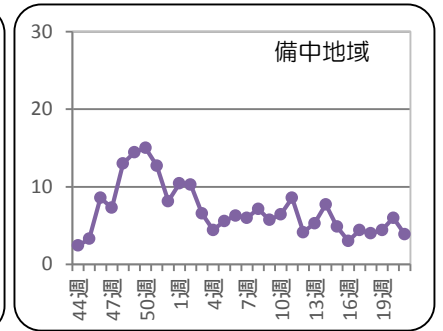
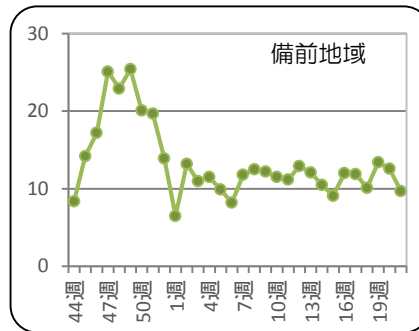
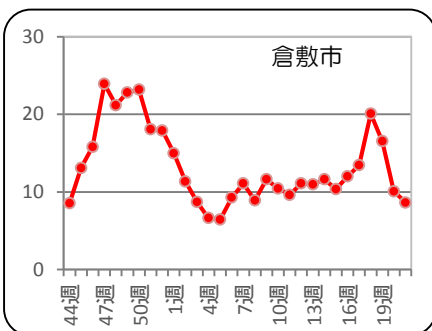
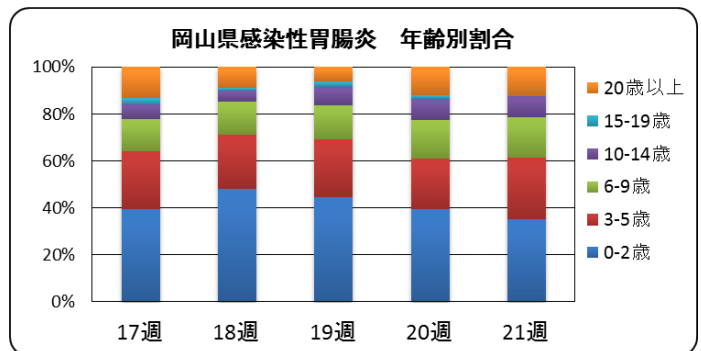
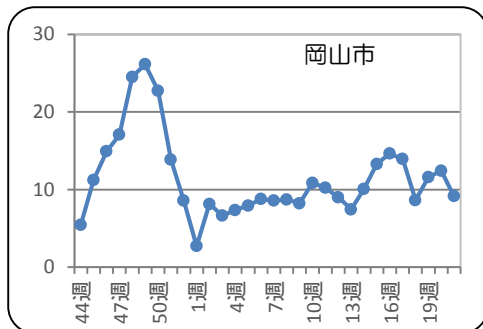
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、446 名（定点あたり 11.13 →8.26 人）の報告があり（54 定点医療機関報告）、前週より減少しました。地域別では、備前地域（9.70 人）、備北地域（9.25 人）、岡山市（9.14 人）の順で定点あたり患者数が多くなっています。トイレの後や食事、調理の前には、特にしっかりと石けんと流水で手洗いを行う等、感染予防に努めてください。

年齢別では、0～2 歳が全体の 35%と、ひきつづきこの年齢層の割合が、高くなっています。

例年 3～5 月にかけては、ロタウイルスによる胃腸炎が、0～2 歳の乳幼児を中心に増加するとされています。ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれていますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

## ◆地域別・年齢別発生状況(定点あたり数)



保健所別報告患者数 2013年 21週 (2013/05/20～2013/05/26)

2013年5月29日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	78	0.93	23	1.05	16	1.00	6	0.40	11	0.92	19	3.17	-	-	3	0.30
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	21	0.39	9	0.64	2	0.18	2	0.20	1	0.14	1	0.25	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	1.13	39	2.79	9	0.82	-	-	-	-	1	0.25	6	3.00	6	1.00
感染性胃腸炎	446	8.26	128	9.14	95	8.64	97	9.70	27	3.86	37	9.25	13	6.50	49	8.17
水痘	86	1.59	29	2.07	16	1.45	18	1.80	2	0.29	8	2.00	-	-	13	2.17
手足口病	17	0.31	4	0.29	2	0.18	-	-	10	1.43	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	29	0.54	14	1.00	8	0.73	5	0.50	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	15	0.28	8	0.57	3	0.27	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	15	0.28	6	0.43	3	0.27	5	0.50	-	-	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	5	1.00	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)



保健所別報告患者数 2013年 21週 (2013/05/20～2013/05/26)

2013年5月29日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	78	0.93	23	1.05	16	1.00	6	0.40	11	0.92	19	3.17	-	-	3	0.30
咽頭結膜熱	21	0.39	9	0.64	2	0.18	2	0.20	1	0.14	1	0.25	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	1.13	39	2.79	9	0.82	-	-	-	-	1	0.25	6	3.00	6	1.00
感染性胃腸炎	446	8.26	128	9.14	95	8.64	97	9.70	27	3.86	37	9.25	13	6.50	49	8.17
水痘	86	1.59	29	2.07	16	1.45	18	1.80	2	0.29	8	2.00	-	-	13	2.17
手足口病	17	0.31	4	0.29	2	0.18	-	-	10	1.43	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	1	0.02	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	15	0.28	8	0.57	3	0.27	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	15	0.28	6	0.43	3	0.27	5	0.50	-	-	-	-	-	-	1	0.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	0.50	5	1.00	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2013年 第21週 2013/05/20～2013/05/26 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	78	-	-	2	2	4	3	3	7	7	4	4	22	2	2	6	4	2	-	2	2

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	21	2	3	7	1	1	2	2	-	2	1	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	61	1	-	3	3	4	13	6	10	7	3	3	5	-	3
感染性胃腸炎	446	6	35	73	42	52	35	30	26	15	20	16	40	3	53
水痘	86	1	6	19	14	13	9	7	7	3	1	1	3	1	1
手足口病	17	-	1	12	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	29	1	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	15	-	1	5	2	3	1	3	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	15	-	-	-	-	1	1	5	4	1	-	2	1	-	-

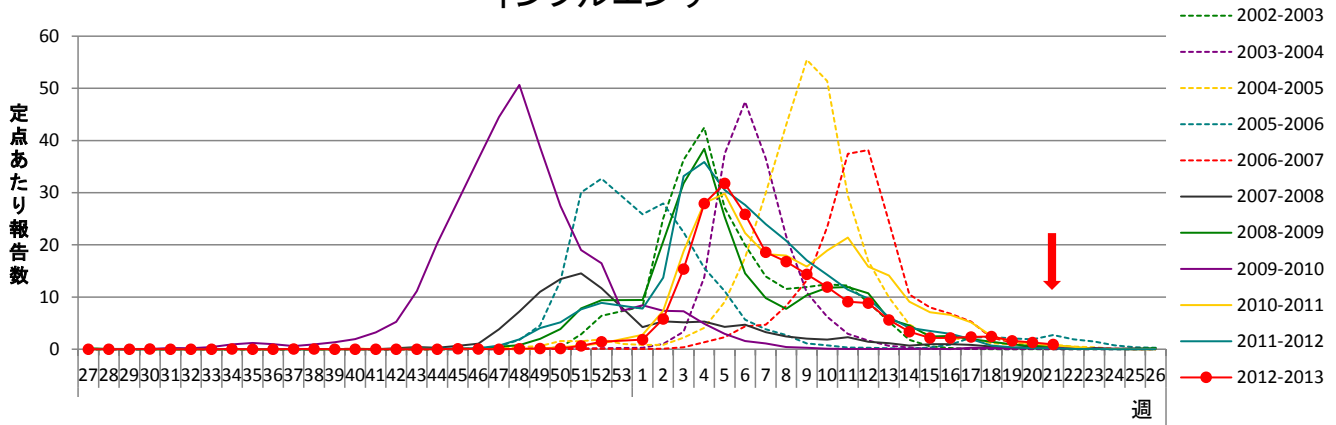
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	1	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

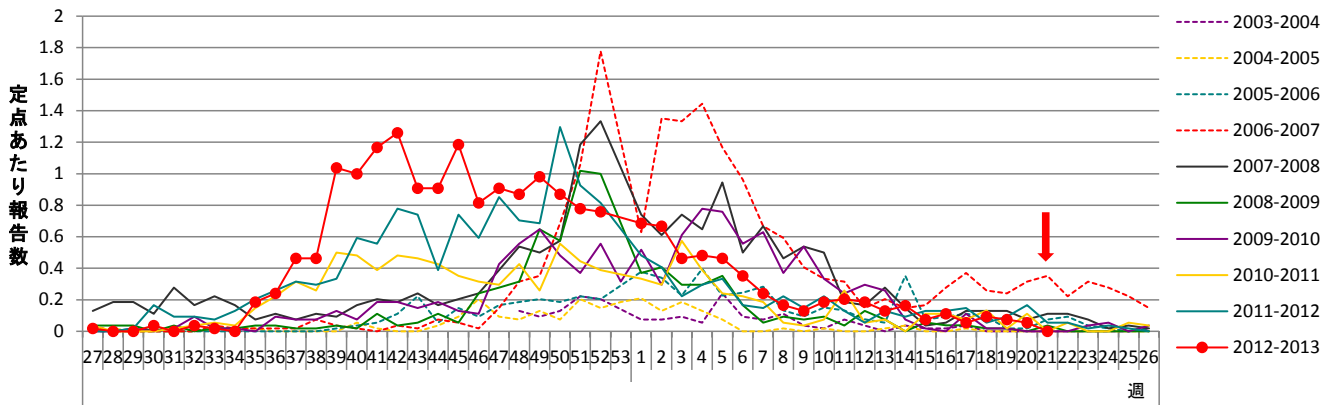
( - : 0 )



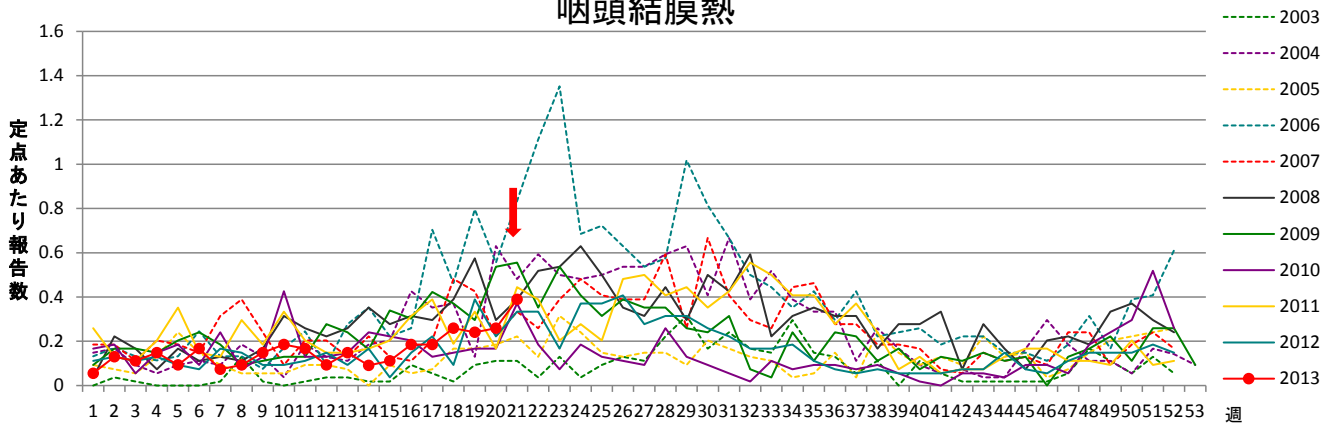
### インフルエンザ



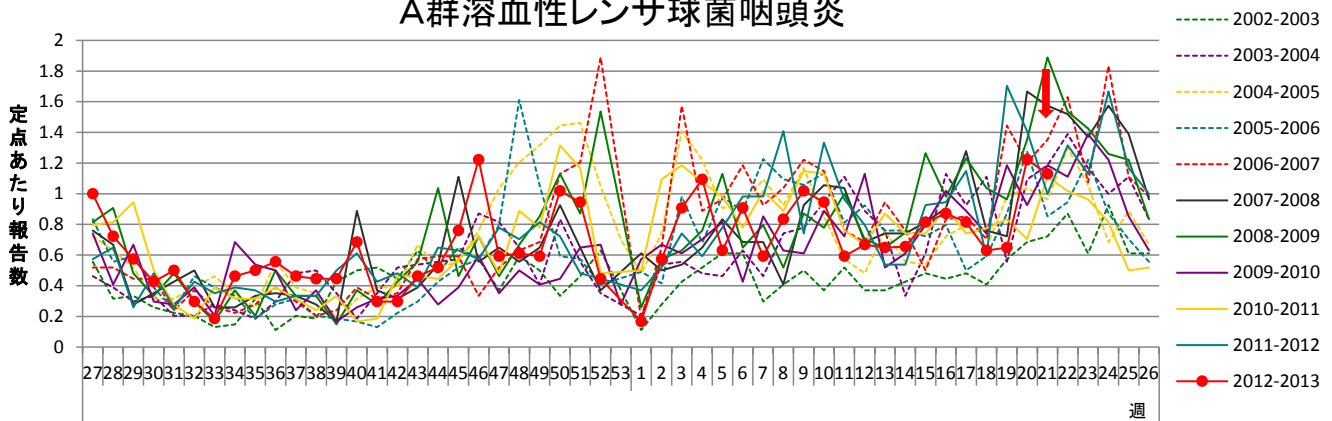
### RSウイルス感染症



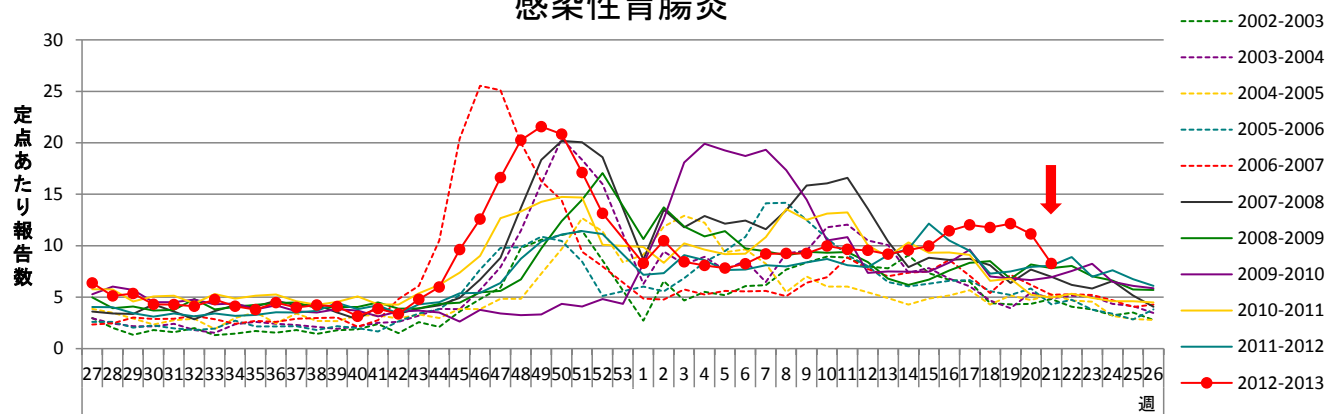
### 咽頭結膜熱



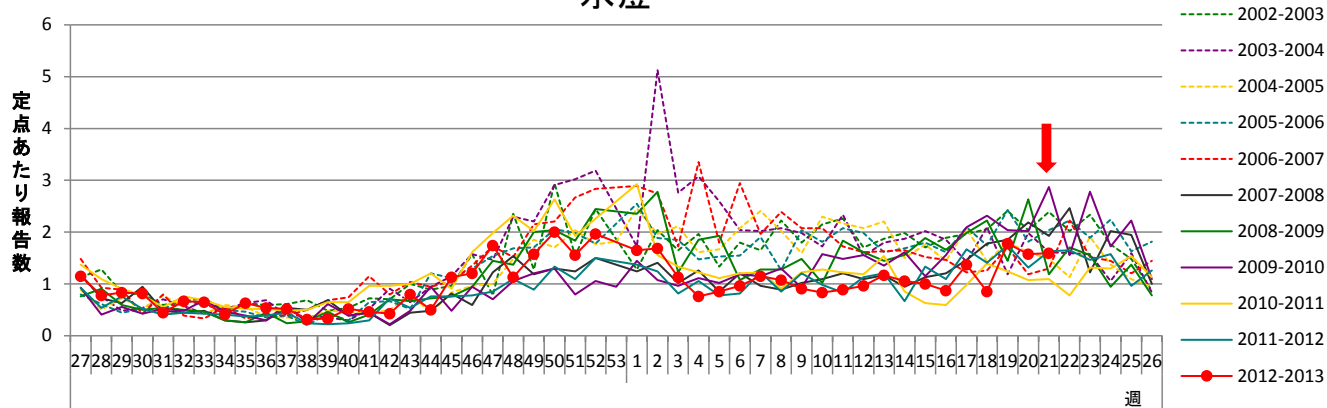
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



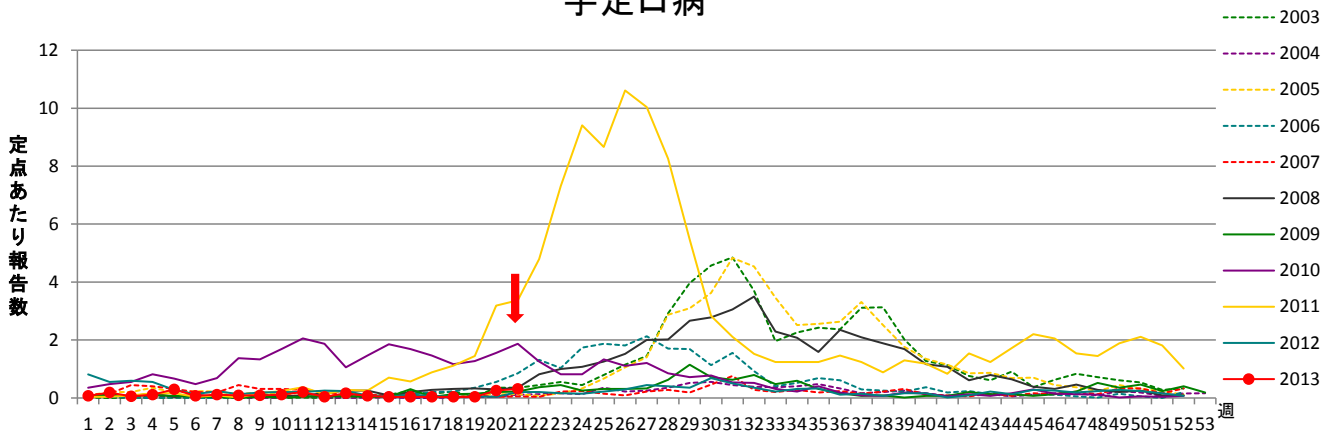
### 感染性胃腸炎



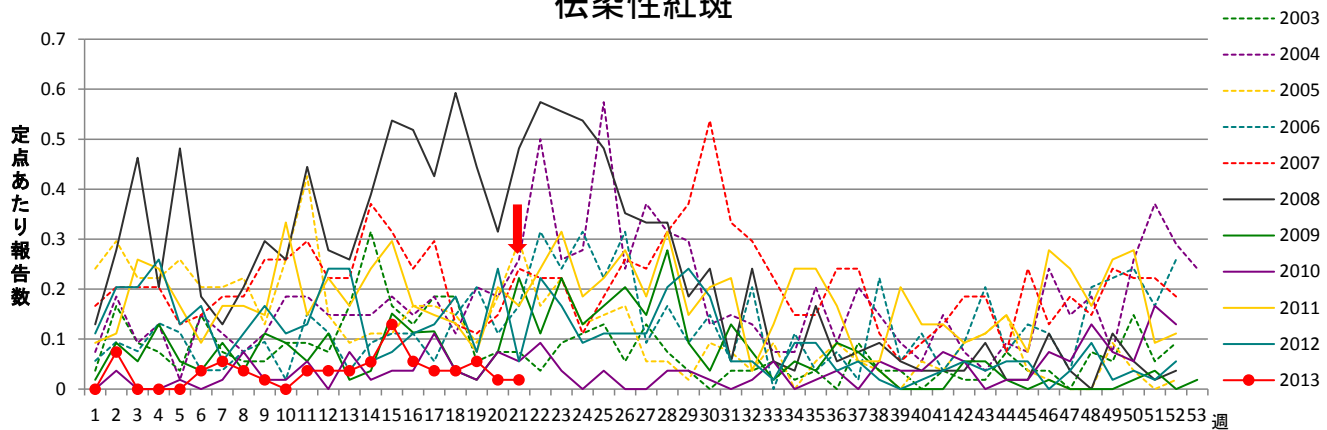
### 水痘



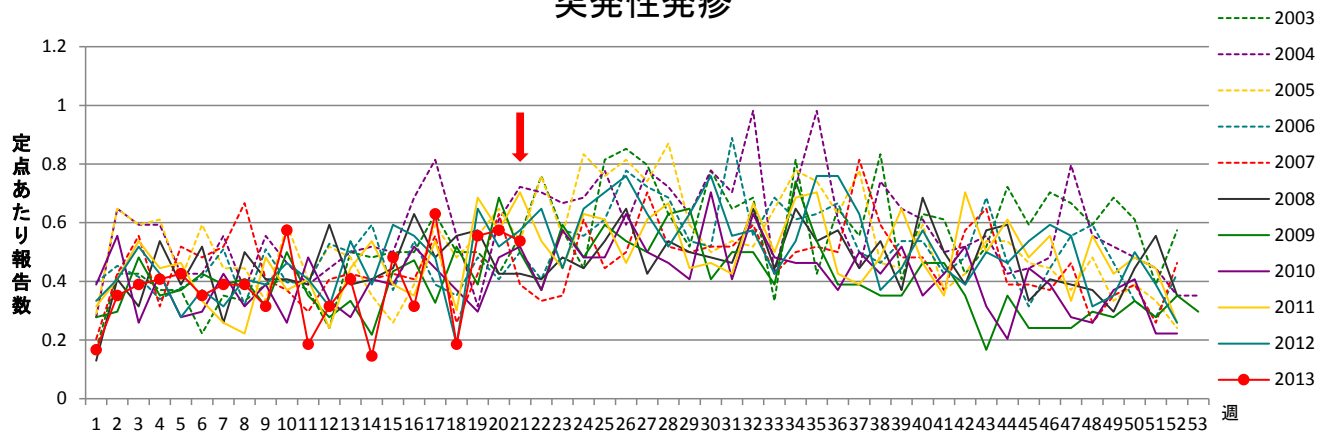
### 手足口病



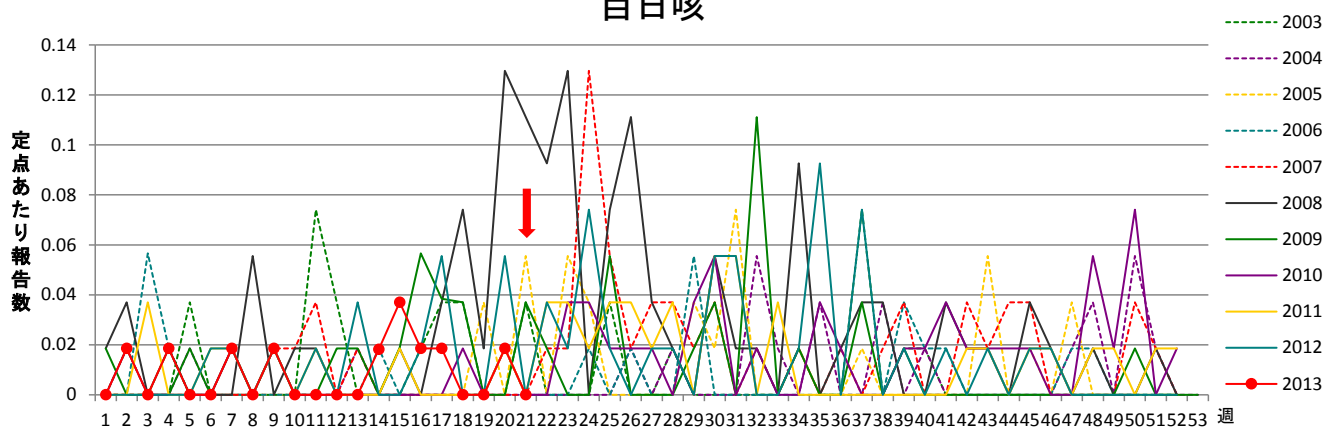
### 伝染性紅斑



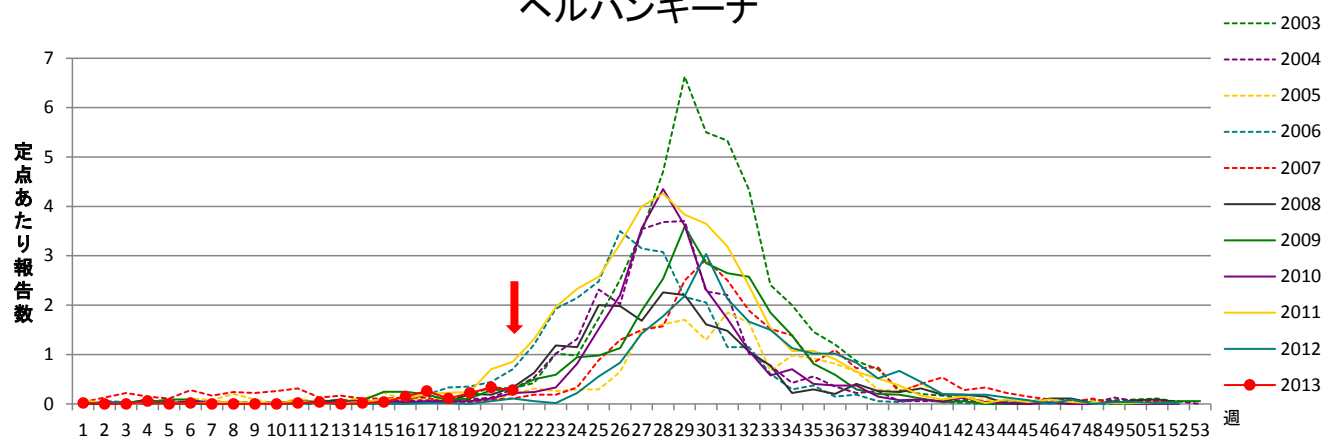
### 突発性発疹



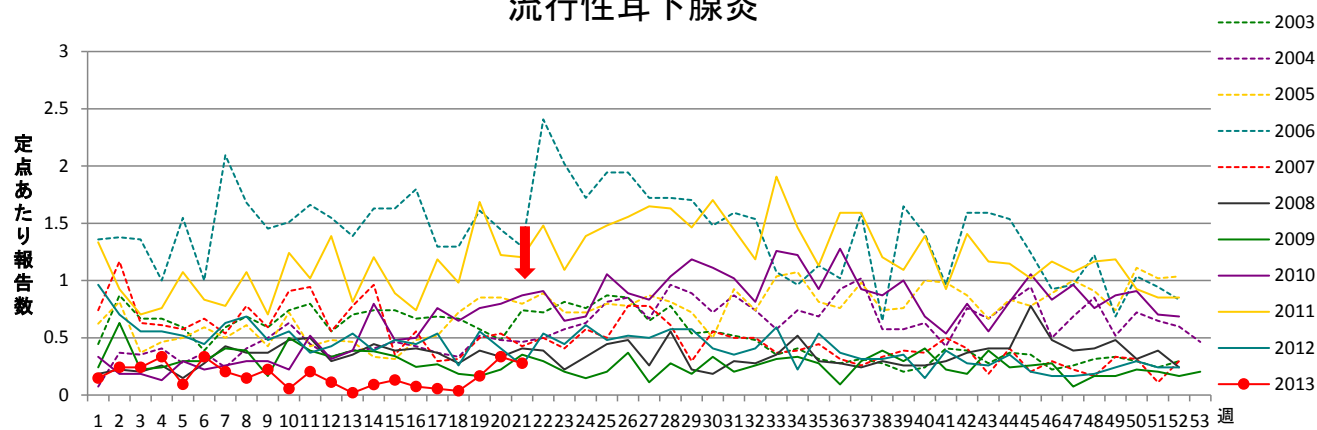
### 百日咳



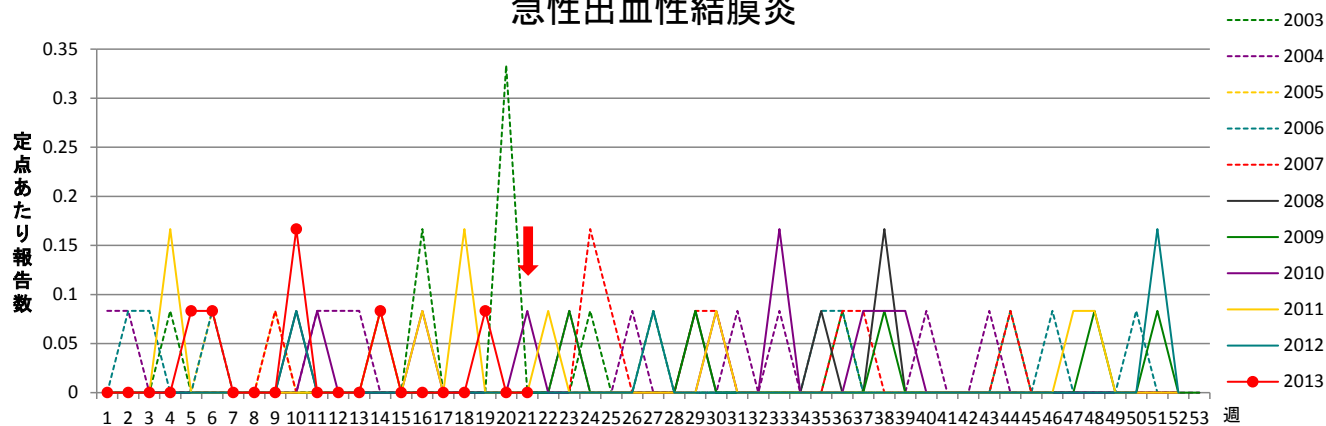
### ヘルパンギーナ



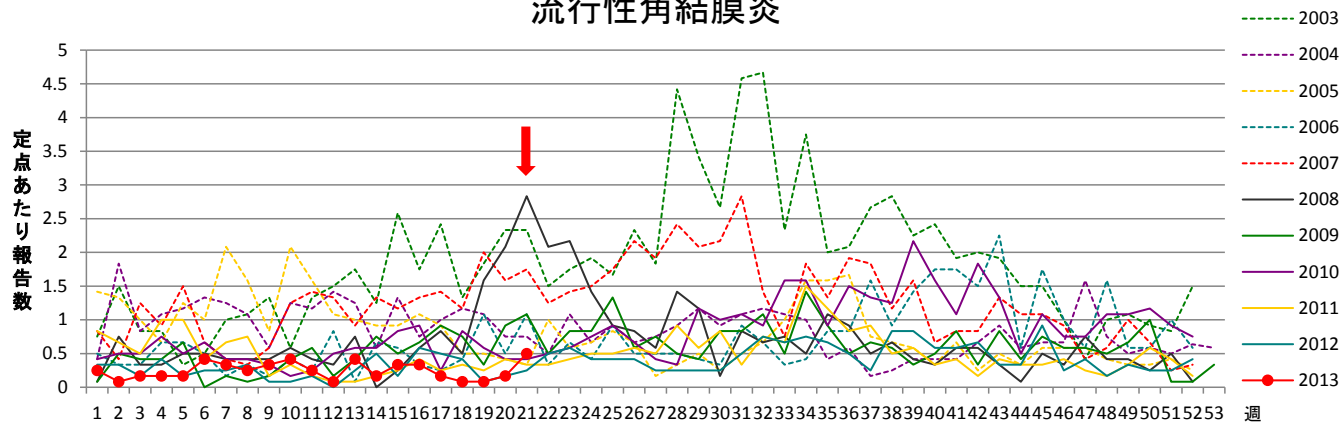
### 流行性耳下腺炎



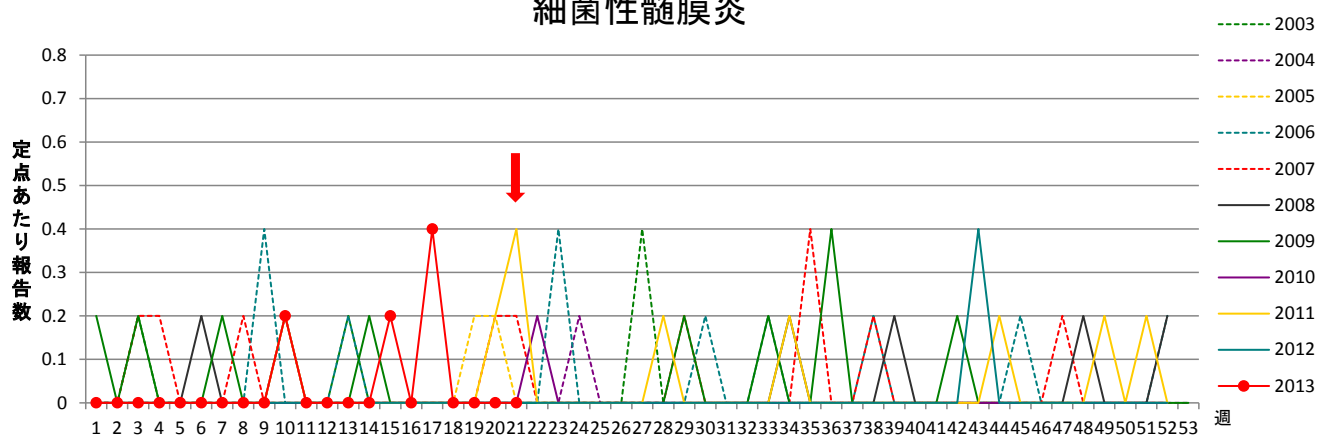
### 急性出血性結膜炎



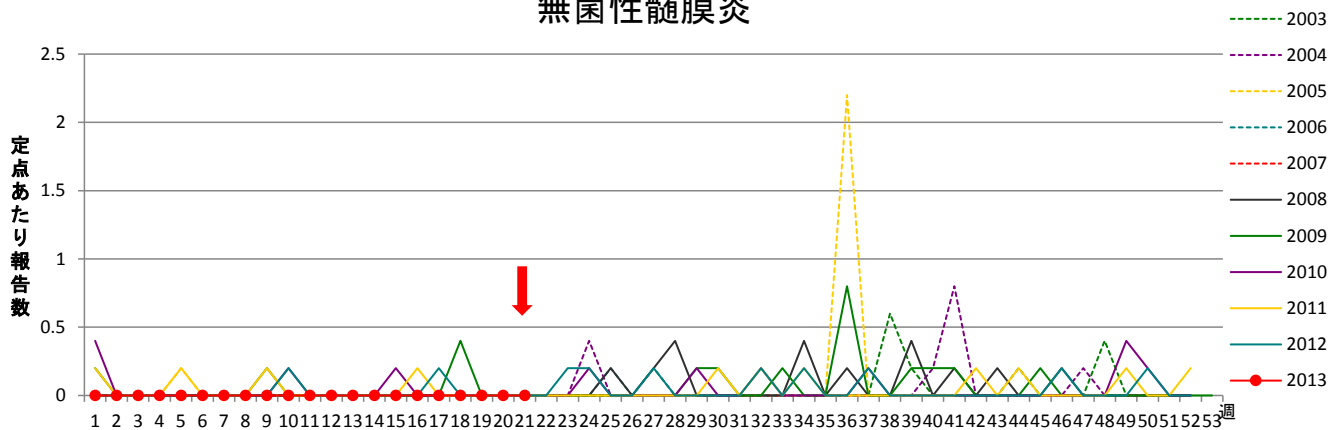
### 流行性角結膜炎



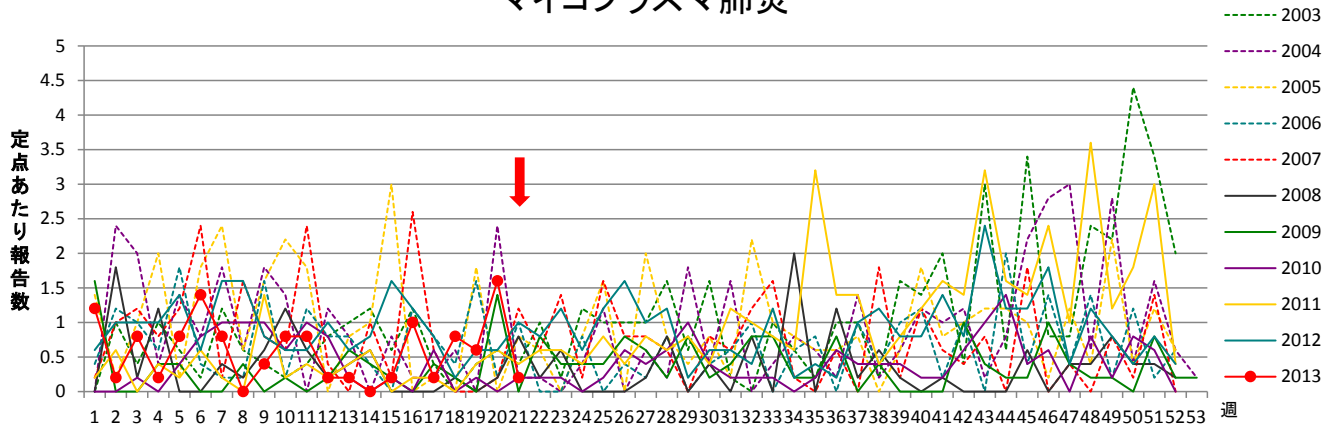
### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎



### マイコプラズマ肺炎



### クラミジア肺炎

